

3. 災害の概要

(1) 東日本大震災・東京電力第一原子力発電所事故の概要（町関連部分）

3月11日 14:46	<u>M9.0の大地震が発生、浪江町では震度6強を計測</u>
	町内各所で建物倒壊や道路損壊が発生し、大きな被害発生
15:33	<u>大津波の第1波が浪江町沿岸部に到達、以降数度の大津波が到達</u>
	死亡・行方不明者184名、流出戸数約600戸
	町民の多くは町内12施設に避難
3月11日 16:45	第一原発で電源喪失の旨、東電から政府へ通報【※連絡なし】
21:23	東京電力福島第一原発の半径3km圏内の住民に避難指示
	<u>半径3~10km圏内の住民に屋内待避指示【※連絡なし】</u>
3月12日 05:44	<u>10km圏内の住民に避難指示【※連絡なし】</u>
	浪江町でも10キロ圏外への避難誘導及び避難開始
13:00	津島支所へ災害対策本部移転を決定
3月12日 15:36	1号機の水素爆発が発生
18:25	<u>20km圏内の住民に避難指示【※連絡なし】</u>
夕~夜	浪江町でも20km圏外への避難誘導及び避難を開始
3月13日 15:41	1号機で水素爆発が発生
3月14日 11:01	3号機で水素爆発が発生
3月15日 04:30	町独自の判断で町外への避難決定、二本松市長へ依頼着手
10:00	浪江町全域に避難指示発令（町長）、二本松市への避難決定
11:00	<u>20~30km圏内住民への屋内待避指示【※連絡なし】</u>
同日中	二本松市東和地域に避難所開設、災害対策本部を同地域に設置
4月22日 00:00	<u>20km圏内を警戒区域に設定</u>
09:44	<u>計画的避難区域の設定</u>
	現在に至る

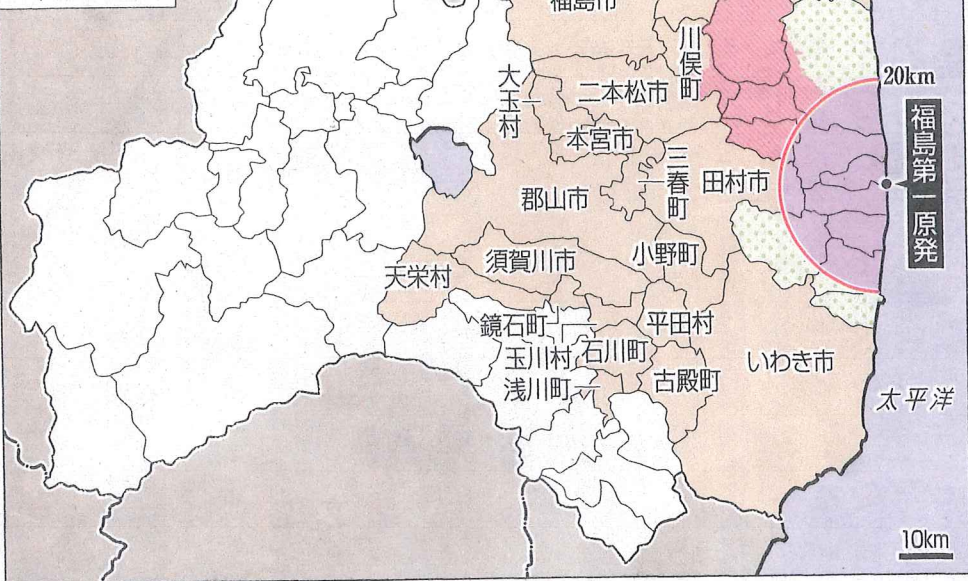
(2) 被害の概要（平成23年11月16日現在）

- ・ 死者及び行方不明者：184名
- ・ 家屋被害： 流出604戸、地震による全壊29戸（※大規模半壊以下は未判定）
- ・ 町外避難： 県内13,846人、県外7,199人（発災時の総人口は21,434人）
- ・ その他の被害： 町内の住宅、公共施設、道路等の被害状況は甚大（要調査）

浪江町では、地震、津波により甚大な被災を受けた上、東京電力第一原子力発電所の事故により、全町民が避難を余儀なくされ、全ての町民の日々の暮らしが失われる状況になっています。

賠償の対象となる市町村

- 警戒区域
- 計画的避難区域
- 旧緊急時避難準備区域など



23市町

賠償対象の市町

福島市、郡山市、いわき市、須賀川市、二本松市、田村市、伊達市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、天栄村、石川町、玉川村、平田村、古殿町、三春町、小野町、新地町

賠償対象外の市町

会津若松市、白河市、喜多方市、檜枝岐村、只見町、南会津町、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津湯川村、柳津町、三島町、金山町、会津美里町、西郷村、泉崎村、吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、

※対象はすでに賠償が決ま
警戒区域、計画的避難区域な

賠償指

文部科学省の原子がまとめた東京電力主避難に関する賠償

【対象者】

- 一、避難せずにと事故発生時、に生活拠点と人。警戒区域から賠償の対象と子ども(18

【損害項目】

- ▷自主避難した人
 - 一、自主避難で生
 - 一、精神的苦痛
 - 一、避難と帰宅に
- ▷被ばくの恐怖や区域内に滞在し
 - 一、精神的苦痛
 - 一、恐怖や不安にた生活費の増

【賠償額】

- 一、妊婦や子どもして1人当た
- 一、対象区域のそ生当初の損害円を目安とす
- 一、警戒区域、計賠償の対象しち、妊婦と子書として1)

【その他】

- 一、2012年1月以要に応じて特

基金に
事故被害緊急措置法に基づいて設置するに、原発事故の応急対策や影響の緩和に向けた事業に活用でき

警戒区域

来年9月末解除視野

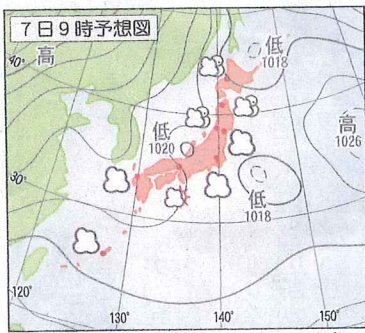
「居住制限」解除準備「25年にも区域見直し

東京電力福島第一原発事故の避難区域見直しで、政府は六日まで「居住制限」解除準備の両区域設定から半径二十キロ圏内の警戒区域は残り、立ち入り制限を続ける方向で調整に入った。区域内を一気に開放することでの混乱を避ける「激変緩和」措置で、来年九月末の解除を視野に入れている。

政府は来年三月末までに居住制限、解除準備の両区域を設ける方針で、住民の帰還に向け除染を急ぐ。区域設定後も人の出入りの規制を継続することで、エリア内の治安維持につなげる狙いもある。

居住制限、解除準備の両区域については来年三月末までに設定される方向だが、除染の効果などを見極めながら平成二十五年三月を目標に区域設定の見直しを行うことを検討している。

は、政府と市町村が協などに使用する長期居住した上で、公共目的住困難区域も設ける見



天気図内のマークは今日の全国の予報

きょう	6	12	18	24時	7日	8日	9日	10日
福島	☀	☁	☁	☁	10	☁	☁	☁
伊達	☀	☁	☁	☁	10	☁	☁	☁
二本松	☀	☁	☁	☁	10	☁	☁	☁
本宮	☀	☁	☁	☁	10	☁	☁	☁
郡山	☀	☁	☁	☁	10	☁	☁	☁
田村	☀	☁	☁	☁	10	☁	☁	☁
石川	☀	☁	☁	☁	10	☁	☁	☁
須賀川	☀	☁	☁	☁	10	☁	☁	☁
白河	☀	☁	☁	☁	10	☁	☁	☁
若松	☀	☁	☁	☁	10	☁	☁	☁

お天気

【概況】7日は西から低気圧が近づくと、県内は午前中は晴れる所が多いが、午後からは雲が広がり、夜遅くは会津を中心に雨や湿った雪が降る。各地とも西よりの風が吹く。各地海上は波1.5メートル。8日は波1.5メートル。9日は波1.5メートル。10日は波1.5メートル。

南相馬市

MINAMISOMA-SHI
小高区 神山

月山神社

吉沢牧場

立野

東照神社

光明寺

鈴木人形美術館

萩野小

JA

標葉神社

観音寺

ひまわり荘

特養ホーム

オンフル双葉

町営住宅

浪江日立化成

大和電線

町営住宅

町営グラウンド

JA

大堀小

清水寺

谷津田

白旗神社

寺沢

仲禮寺

公民館

松倉

土羽鳥

自サク

水沢

八幡神社

八幡神社

八幡神社

八幡神社

八幡神社

八幡神社

八幡神社

八幡神社

八幡神社

八幡神社

八幡神社

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

国道6号(南相馬市原町区大妻~広野町下北迫)

国道114号(浪江町上町)

国道288号(双葉町前田地内)

国道6号(南相馬市原町区大妻~広野町下北迫)

大堀~浪江町(小丸)

道35号(双葉町双葉ばら園前)

双葉郡

双葉町

FUTABA-MACHI

松サケ

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

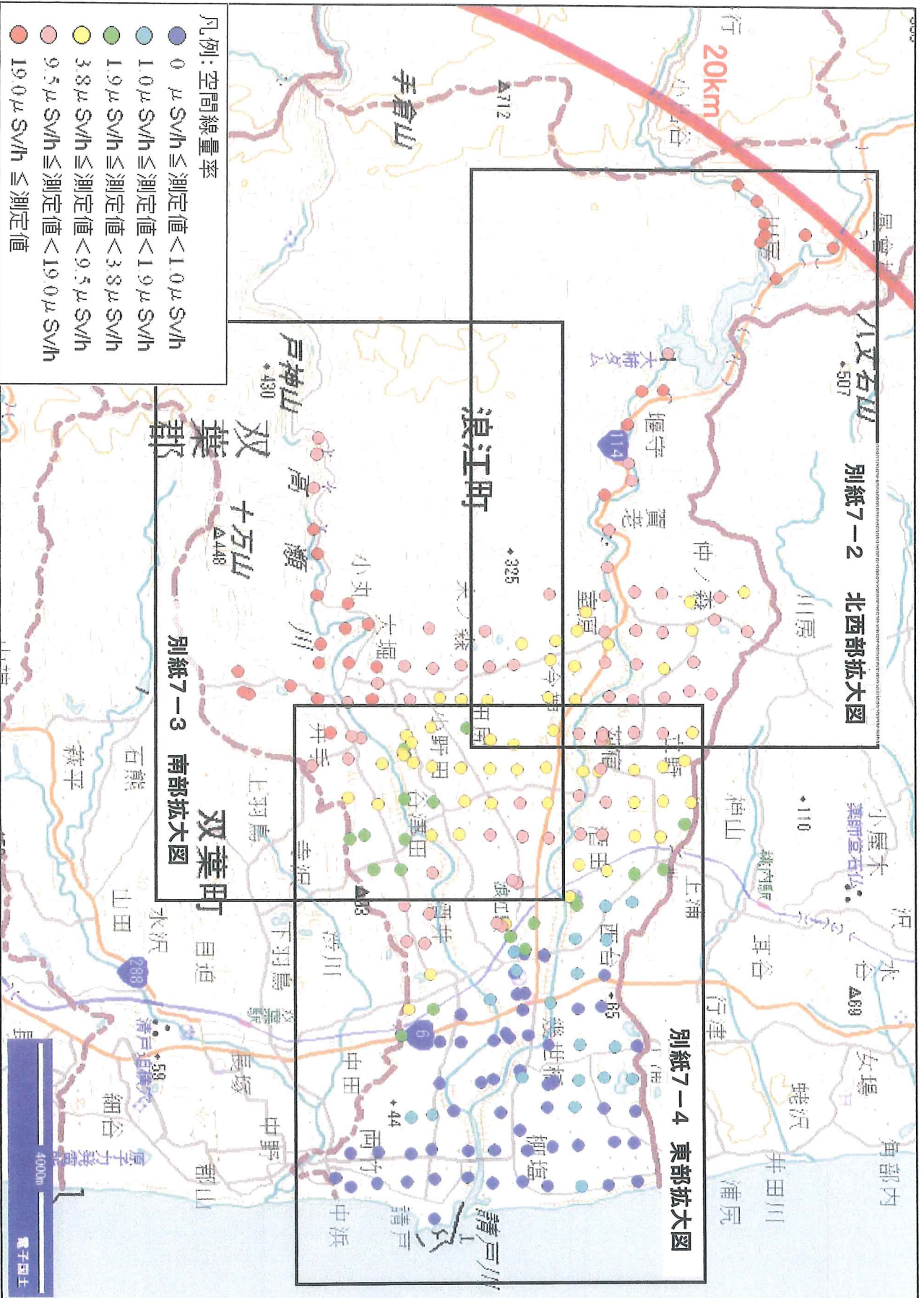
運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

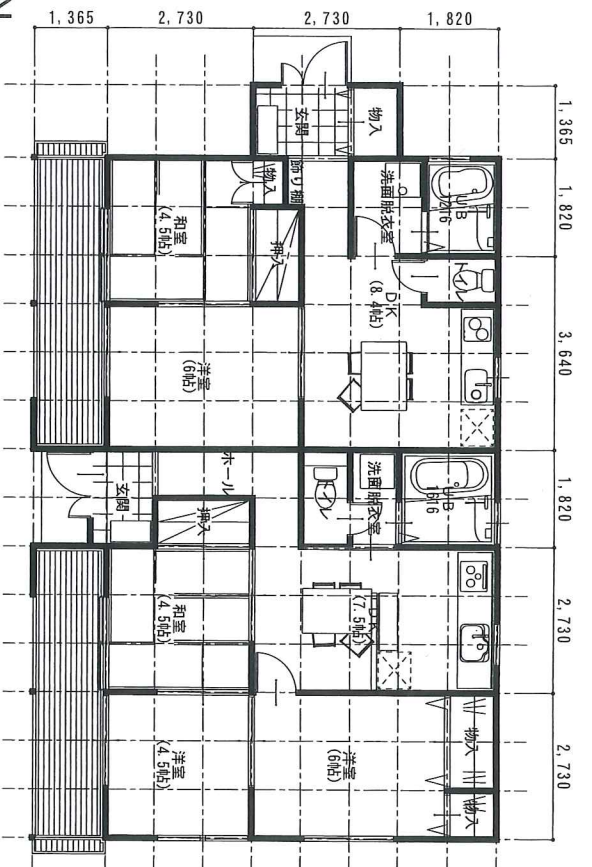
運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

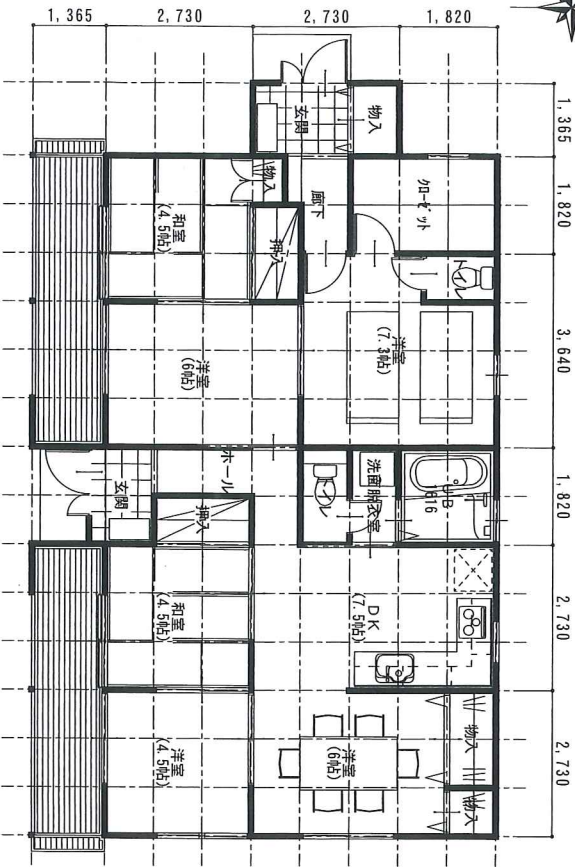
運休中(四ツ倉駅~亘理駅間)

浪江町 警戒区域のモニタリング結果 (全体図 1m高さ)

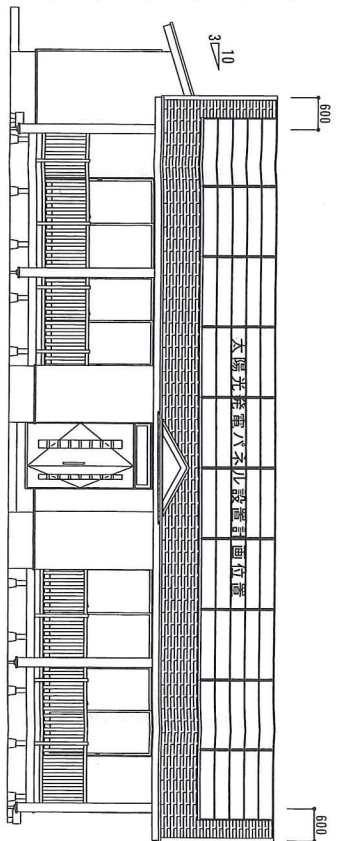




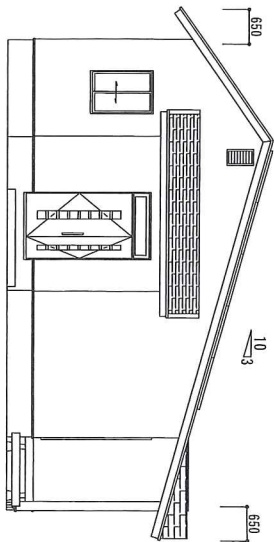
2DK9+17°
恒久仮設住宅 2戸連棟 平面図1/100



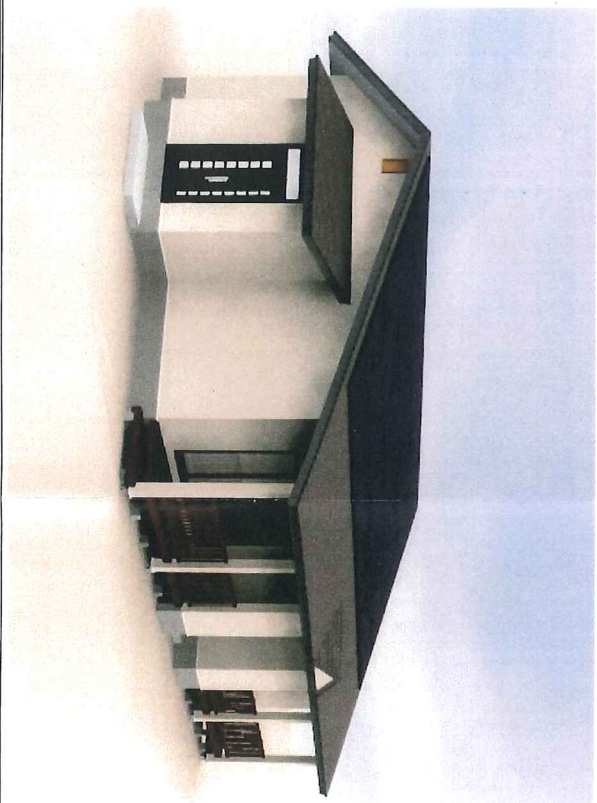
恒久住宅 5LDKに改造 平面図1/100



南側立面図 1/100



西側立面図 1/100



1. 「団体概要」
1) 設計：横山建設㈱ 1級建築士事務所
2) 建築：佐藤商事建設㈱ 他
3) 工法：エアサイクルホームシステム
パツシブコム工法

2. 「復興住宅コンセプト」
1) 浪江町の復興の基地とする為に、低放射線の地区に将来は、本建築として生活の出来る恒久住宅を建設する。
2) 復興の為に多くの作業員世帯を入居出来るように、2世帯1棟の建物を建設。敷地は、80〜100坪とし、将来駐車場屋等が出来る面積とする。
3) 電気は、原発に代わる代替え自然エネルギーとして、太陽光発電を設置出来る様に屋根形状を考慮する。今回は、一般の受電とする

3. 「概算建設費」
建築工事費 30万
電気設備費 4万
給排水衛生設備費 6万
諸経費 6万
34.4坪 46万≒1600万

4. 「建築概要」
1) 構造規模：木造平屋建て
2) 工法：エアサイクルホームシステム
パツシブコム工法「外断熱工法」
基礎：べた基礎・コラムベーンシステム
3) 特徴：太陽光パネルの設置面積を広く天候変化に対応できるサンテック

附記

受領

承認 作図

工事名

浪江町復興のための恒久住宅

No.

図面名

平面・立面・基礎伏図

縮尺

1/100